

九州国立博物館

開館6周年記念イベント

九州人形浄瑠璃

第二回

入場無料

※事前募集・先着順
※裏面の申込み用紙または、メール・お電話にてお申込みください。

九州国立博物館6周年を記念して、

第2回「九州人形浄瑠璃フェスティバル」を開催。

九州で活躍する団体による、日本の伝統芸能

「人形浄瑠璃」をお楽しみください。

■開催日程

2011年 10月14(金)・15(土)日
(1日2回公演×2日間)

場所／九州国立博物館
ミュージアムホール(1階)

10月14(金)日

「1日目」

●開場／12:30 開演／13:00(約30分)

八女市黒木町 笠原小学校児童(4・5・6年生)

傾城阿波鳴門 ————— 巡礼歌の段

けいせいあわなると

じゅんれいうたのだん

盗まれた主君の刀を取り戻すため、盗賊に身を変えた十郎兵衛・お弓の夫婦の元に巡礼姿の娘お鶴が徳島から父母を尋ねて来る。お弓は我が子と分かるが、娘に災いが来ぬよう別れるが、今度いつ会えるか分からぬと追いかける。

●開場／13:40 開演／14:00(約60分)

清和文楽(熊本県上益城郡山都町)

壺坂霊験記 ————— 山の段

つぼさかいいげんき

やまのだん

目の不自由な沢村と、妻のお里の夫婦の情愛を綴ったおなじみの物語。一度、死んでしまう夫婦が観世音菩薩によって蘇る名作です。

10月15(土)日

「2日目」

●開場／10:30 開演／11:00(約60分)

旭座人形芝居保存会(福岡県八女市黒木町)

鬼一法眼三略巻 ————— 五条橋の段

きいちほうげんさんりやくのまき

ごじょうばしのだん

※鬼一法眼三略巻 全五段中 五段目

夜な夜な五条橋に出て源氏の味方となる侍を探す牛若丸と、噂を聞きつけ手下にしようとやってきた弁慶。牛若丸と弁慶の出会いを描いた、童謡でも有名な物語。

●開場／13:45 開演／14:00(約60分)

清和文楽(熊本県上益城郡山都町)

壺坂霊験記 ————— 山の段

つぼさかいいげんき

やまのだん

FAX申込書	参加希望日 ご希望の公演日に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	
	10月14日(金)	<input type="checkbox"/> 開演/13:00 傾城阿波鳴門 巡礼歌の段・壺坂靈験記 山の段
	10月15日(土)	<input type="checkbox"/> 開演/11:00 鬼一法眼三略巻 五条橋の段 <input type="checkbox"/> 開演/14:00 壺坂靈験記 山の段 <input type="checkbox"/> 両公演参加
(代表者)お名前	フリガナ	電話番号 () -
		メールアドレス
ご住所(代表者)	〒 都道 府県	
複数でのご参加の場合は、一緒に参加される方のお名前の記入をお願いします。		
お名前	フリガナ	フリガナ
お名前	フリガナ	フリガナ
ご記入のうえ、この申込書を上記番号へFAXで送信してください。		

ご不明な点がございましたら、右記電話番号にお問い合わせください。(092)714-0014

参加団体

八女市黒木町 笠原小学校児童

笠原の伝統文化である旭座人形芝居を受け継いで、4～6年生の児童が「傾城阿波鳴門」の人形浄瑠璃を演じています。20年以上続く活動で学校の伝統となり、子ども達の中に人形浄瑠璃はしっかり根付いています。

清和文楽

清和文楽は、江戸時代末期に伝わったとされています。当時、清和村に旅の一座が訪れ、一座から人形遣いの技を教わり、農作業のかたわら練習を積み現在の清和文楽の原型をつくりあげたそうです。豊作の願いを込め、安らかなる日々の暮らしに感謝し、上演します。

旭座人形芝居保存会

現在、六戸の農家が保存会を結成しそれぞれが役割を分担。首の優美さと所蔵数は九州内でも屈指のもので、阿波の人形師・初代天狗久や大分の竹次郎人形等折々の外題では、その華やかな容姿をうかがうことができる。八女市黒木町には人形芝居会館も完成し旭座、及び笠原小学校児童による今後の活用と普及が期待されている。



～草原のプリンセス～

大草原を思わせる馬頭琴の響き、中国内モンゴル自治区出身の女性2人と日本人ピアニストの演奏です。縁起の良い楽器といわれる馬頭琴の心安らぐ音色をお楽しみください。

日時

2011年
10月15日(土)

開催
場所

九州国立博物館
1Fエントランスホール

出演者

DORAN(ドラ)
鳥雅琴(オヤハン)
国友 章太郎

第1回公演 13:00～13:45

演奏予定曲目:「スーホーの白い馬」・「荒城の月」他



ドラ
DORAN

馬頭琴

中国内モンゴル自治区出身。1野馬馬頭琴楽団コンサートマスターの敖那拉図(オナラト)氏に師事。2003年に来日。2011年福岡で馬頭琴楽団を結成。東アジア交流学院、スタジオjinton講師。九州を中心に馬頭琴教室や演奏会などの音楽活動を行っている。



オヤハン
鳥雅琴

馬頭琴

中国・内モンゴル赤峰出身。中国馬頭琴学会会員。2007年『星星火炬』芸術コンクール青年の部金賞受賞。2009年内モンゴル大学芸術学科馬頭琴専攻を卒業。2010年に来日。現在、九州国際教育学院で日本語を勉強しながら、福岡を中心に演奏活動をしている。



くにとも しょうたろう
国友 章太郎

ピアノ

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。卒業後プロ活動を始める。ジャンルを問わずピアノを弾き分ける。現在はライブハウス、ブライダル、イベントなど様々な場所で活躍する傍ら、施設やホスピタルでのボランティア演奏も行っている。